

平成18年4月4日

東洋エンジニアリング株式会社

オーストラリア向け洋上原油処理設備を受注 ～ TEC初のFPSO関連設備受注～

東洋エンジニアリング株式会社(TEC、取締役社長 山田 豊)は、三井海洋開発株式会社(MODEC、取締役社長 山田健司)より、同社がオーストラリアの石油開発会社のBHPBP社が鉱区権を所有するオーストラリア沖スタイバロー鉱区開発用に納入する、浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備(FPSO)に搭載する船上処理設備を、このたび受注いたしました。

本FPSOはTECにとって最初のFPSO関連設備の受注であり、この受注を機にTECは、船上処理設備のコントラクターとしての信頼性を高め、MODECとの関係強化を図ることで、今後もFPSOでの受注拡大を目指します。

< 受注概要 >

契約先：三井海洋開発株式会社(英文名 MODEC,INC. 本社：東京都文京区)

受注者：TEC

対象設備：浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備(Floating Production Storage and Offloading; FPSO)に関わる日量8万バレルの石油生産能力を持つ船上処理設備

建設地：オーストラリア西部エクスマス沖合に位置するスタイバロー鉱区

FPSO納入先：BHPピリトン・ペトロリウム社(BHPBP社、本社：オーストラリア)

役務内容：設計、機器資材の調達およびモジュール製作管理までの一括請負

船上処理設備の完成：2007年第3四半期の予定

プロジェクト概要

- * 本プロジェクトは、BHPBP社がオーストラリア西部・エクスマスの北西65km沖に位置する油田のスタイバロー鉱区開発用に、三井海洋開発(株)がチャーター契約で納入するFPSO向けの船上処理設備です。
- * 本FPSOは、日量8万バレルの石油生産能力、日量45百万立方フィートのガス生産能力、日量11万バレルの水圧入能力及び90万バレルの貯蔵能力を持ち、契約者より韓国の三星重工業に発注された新造FPSO船体が用いられます。
- * 本FPSOは水深約825m地点に係留され、海底からの原油をFPSO上の生産設備で一次処理(ガス・水等を分離)した後にFPSOのタンクに貯蔵し、定期的にシャトルタンカーに積み出すものです。

以上